



2015年度第1回 RCSフォーラム 第1回「水とグリーンビル研究会」講演会

- 日 時： 2015年8月20日（木）14時00分～16時00分
- 会 場： 立命館大学大阪いばらきキャンパス・B棟3階「コロキウム」

1896年に河川法が制定されて、来年は120周年になります。1997年には改定河川法が制定されましたが、その策定にご尽力された、元建設省河川局長尾田栄章氏をお迎えして、講演会を開催いたします。みなさまのご参加をお待ちいたします。



プログラム

【開会挨拶】 14:00～14:05 仲上 健一（立命館大学特別任用教授・東京大学客員教授）

【講演】 14:05～15:15 「水と災害 - 根本に遡って見つめ直そう -」
尾田 栄章氏（福島県広野町復興企画課・福島県任期付職員、元建設省河川局長）

休憩(15:15～15:30)

【対談】 15:30～16:00 「改正河川法に込められた願い」
尾田 栄章氏 、 仲上 健一

総合司会：吉岡 泰亮（立命館大学 衣笠総合研究機構 サステイナビリティ学研究センター）

参加申込み先：nhirai@st.ritsumei.ac.jp
075-465-8319

講師プロフィール

尾田栄章氏（NPO法人渋谷川ルネッサンス代表、元建設省河川局長）



昭和16年生まれ、奈良県出身

1967年、建設省に入省、東北地建（岩手工事事務所等）に78年まで勤務。その後、河川局長として、河川管理の目的に「河川環境の整備と保全」を加えること、計画づくりに「関係住民」の参加を求めること等の河川法改正を主導。

1998年に退職後、2003年3月に日本で開催された第3回世界水フォーラム事務局の事務局長をボランティアで務める。現在は、「国連事務総長：水と衛生に関する諮問委員会」委員を務めるなど国際的なネットワークを通じて世界の水問題の解決に向けて取り組む。同時に市民の発想に基づく「打ち水大作戦」、蓋をされた渋谷川の再生を目指す「渋谷川ル

ネッサンス」など、幅広い活動を展開している。

〈主な著書〉「セヌ川に浮かぶパリ」（東京図書出版会）、「みちのくに徹する」（山海堂）
現在、雑誌「河川」に〔“記紀と続記”の時代を『水』で読み解く〕シリーズを連載中。



【主催】立命館大学拠点形成型R-GIRO研究プログラム

「水再生循環によるアジアの水資源開発 研究拠点」RCS「水とグリーンビル研究会」

【共催】立命館サステナビリティ学研究センター

環境省戦略研究「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸域管理手法開発」プロジェクトチーム
一般社団法人 国際3E研究院、川西市水資源・環境同好会、近畿水問題合同研究会